

## 人形供養について

令和元年7月6日於加茂法話会

人形供養の方法・・・①自分で供養する ②業者に依頼する ③寄付する ④寺社に依頼する

■ポイント1 人形セットを全て受け入れてくれるか ポイント2 自分の人形にきちんと供養が行き届くか

ポイント3 決断した時がタイミング ポイント4 供養完了の報告があるか

ポイント5 対応がしつかりしているか

平安時代に紫式部によって書かれた源氏物語に、天児（あまがつ）という人形があります。この人形は、竹や木を十字架のようにくりつけ、そのうえに首をつけて着物を着せた、簡単な人形です。貴族は、子どもの身に降りかかる災いを除くための身代わりの人形として、子どもの枕元に置いて寝かしつけました。京都御所の清涼殿の庭で、いわゆるどんど焼きである左義長がおこなわれました。お焚き上げが、人形供養のルーツです。

※ 紙には神が宿る 絵や習字など子どもの作品の処分。鏡が割れると縁起が悪いの？

日本人は平安の世から「モノには心が宿る」と信じられ、特に人形は神社などで「お焚きあげ」をおこなってもらい供養をしてきました。身近なお寺様に相談する。葬儀会場主催の人形供養にお願いする。

人形供養 撥遣・・・宗門伝来の作法はない。時代に即応してゆく

啓白文 謹んで申す、仰ぎ冀わくは、三宝悉く正智を垂れたまえ。此に慮（おもんみ）るに本日参詣の善男子善女人等各々親しく ①哀願（寵愛）せる所の心中、大小種々の人形を ②愛蔵せる所の眞、空大小種々の写真、遺影を ③願主各々守護の利益を蒙りたる御札等を ④身代わりとなつて悪いものから守ってくれた鏡持ち来たり本堂裡において、聊か微供を献じ、経呪を諷誦し撥遣法を厳修せんとす。

好縁を願わくは、この功德もつて現前（人形・写真・御札）供養に、纏（まつ）わる、執着の順逆因縁を一切消滅して、無辺の功德法界に満ち、還帰したまわんことを。伏して願わくは、此の功德力を以つて、信心の施主併せて各々家門繁栄、諸災消除、如意吉祥ならんことを。乃至、法界平等ならんことを。

〇〇年〇〇月〇〇日

〇〇山〇〇寺〇〇謹んで申す『心経 どちらか 大悲呪 楞嚴呪 消災呪』

撥遣作法：撥遣咒「オン バザラ ボキシヤ ボク」を唱え、ボクの時弾指する。中・右・左  
散印の時「ウン」と唱える。一切空に帰すと観念する。即今因縁滅 喝 一切真空に帰し畢ぬ。  
焼く時に「楞嚴呪」灰を紙に包んで、（灰）と知らない物を一つ入れて、流す。

上來 謹んで 経呪 諷誦す 集むる功德は 十方常住の三宝 果海無量の賢聖に祝献し奉る。

① 人形供養会に相い値うて、長年に亘（わた）り哀願・（寵愛）せる種々の人形を

② 写真供養会に相い値うて、長年に亘り心と伴に身形を写し愛蔵せる種々の写真遺影を

③ お札焚き上げ法要に相い値うて、願主各々守護の利益を蒙りたる御札等を

④ 鏡供養に相い値うて、長年に亘り心と伴に身形を写し得る鏡、本来空 鏡中に影像無し諸鏡を撥遣・お焚き上げ供養し奉る。

謹んで、〇〇を供え、〇〇を諷誦す、集むる所の功德は、大恩教主 云々尽十法界一切常住の三宝に回向す。

専ら請い願わくは、能く総持の明呪は好く一切の災難を除き、本日参詣の〇等各々この功德によって福慧を増長し、信心安樂にして諸縁如意吉祥ならんことを

左手 金剛智拳印 を結んで、如来の金剛の智慧によって、右手は仏 左手は衆生 撥遣 中右左 合掌して  
四大化和合して 即今因縁滅 喝 ウン 正壽寺住職吳定明合掌